

国際協力

No.41
2014 秋号
JICA駒ヶ根
2014.10.1

Contents

特集 地域とともに
35年 Part4

地域で活躍! ~帰国隊員、信州で2度目の協力隊人生~	1	PCMセミナー	4
長野県青年海外協力隊OB会より	1	協力隊員現地レポート	5
JICAボランティア秋募集!	2	長野県出身新ボランティア	5
中小企業海外展開支援事業	2	新職員紹介	5
イベント・レポート	3	インフォメーション(派遣前訓練公開講座)	6
平成26年度教師海外研修(モンゴル)報告	4	帰国ボランティア紹介	6
JICA長野デスクの窓から♪	4		

地域で活躍! ~帰国隊員、信州で2度目の協力隊人生~

秋のJICAボランティア募集の時期です!

「帰国後の進路は?」の悩みを跳ね返してくれるOGをご紹介します。
小谷村では15名の「地域おこし協力隊」(*注)のうち、お二人が元青年海外協力隊です。

みやわき あゆこ
宮脇 あゆ子 さん

平成9年度2次隊 派遣国:ケニア
職種:環境教育 神奈川県出身
現在は小谷村商工会(フィールドアクティビティ担当)

宮脇さんは今年の5月に着任したばかりにもかかわらず、小谷村のこと、ご自身のお仕事について流れるように語って下さいました。協力隊員としてケニアの環境関係のNGOで3年間組織運営に関わり、その後はJICA専門家としてエクアドルのガラパゴス諸島に在住したり、外資系会社での勤務経験など、グローバルなご活躍をされてきました。



「道の道トレイルウォーク&ラン(10/25-26)」の道の道にて

Q: なぜ小谷村での地域おこし協力隊に?
A: ウィンタースポーツと登山が大好きでいつかは自然の豊かな場所に住み、自分らしい生活がしたいと仕事を探していたとき、両親が隣の白馬村に移住しました。同時期に東京都内で地域おこし協力隊の説明会があって参加したところ、自分にぴったりと感じ、移住を決意しました。

Q: 現在のお仕事は?
A: 主に小谷村の観光振興です。トレッキングやバイクの大会を主催したり、村ならではの生活と魅力を体験できるような仕組みづくりなど。また最近増えてきた外国人観光客に向けての英語での案内等々、やることはいくらでもあります!
Q: 協力隊(青年)時代の経験はどう活かされていますか?
A: 派遣国で「たった一人の外国人」として生き残っていくための処世術

が役に立っているかも。まだ自分は村の人から見れば外国人のようなもの。村の人たちと一緒に地域で活動するには、草刈りを一緒にしたり、地道なことから、が大切と感じています。
Q: 地域おこし協力隊としての困難は?
A: 自分のやりたかったことと一致しているのであまり感じませんが、まだ始めたばかりの活動なので回りの周知度も低く、一人でたくさんのお仕事をやらなくてはならないことでしょうか。あとは村の人たちの古い考えも尊重し、新しい考えも取り入れるというところのバランスをどう取るかといつも考えるようにしています。
Q: これから協力隊を目指す方へのメッセージを。
A: 青年海外協力隊での経験は、その後の人生において強力なバックボーンとなります。活動期間の2年間を大切に過ごして下さい!
宮脇さんは、「でも、(途上国と違って)電気あるし、水道もある、病院だって行けるところにある!」とたくましく笑っていらっしゃいました!

あいざわ はるみ
相澤 晴美 さん(旧姓:段原)

平成20年度3次隊 派遣国:セネガル
職種:村落開発普及員 広島県出身
現在は小谷村役場 観光振興課 産産推進室

相澤さんは小谷村特産工芸品の産物の生産・販売支援を行っています。高齢化が進む約50ある集落のうちの一つで、「ゆきまわり草」という村の工芸品を作る体験や特産品の食事を味わうこともできる交流施設の運営に携わっています。協力隊(青年)を終えて帰国し、半年後に小谷村での仕事を開始。すでにここでの任期も満了の3年間に近づいています。



伝統工芸「ぼろ織」の織機とともに

Q: これまでの地域おこし協力隊としての活動を振り返り、困難だったことは?
A: 広島市の都会で育ったので、村人同士がみな知り合いということに驚きました。たくさんのお話をいただき、始めのうちは客観的な視点で物事を見ることができなくなることも。私は小谷村で初の地域おこし協力隊員。初めのうちは、受け入れ側の村役場も村の人たちの周知も浅く、大変でしたが、協力隊(青年)も同じですね。どちらも活動が軌道にのるまで1年はかかりました。でも次第に、一緒に活動している村の人たちが「あなたも3年後もここに居るために協力するわ、協力隊の協力隊ね!」と

言ってくれるまでになりました。
Q: 協力隊(青年)で学んだことが今の仕事にどう活かされていますか?
A: 派遣された場所は電気も水道もないような、セネガルの中でもかなりの僻地。そんな厳しい自然の中でも暮らしている人間の強さを知り、自分は何もできないということも身に染みてわかった。そんな自分でも、生きていくことができたという経験は素晴らしいものでした。また、村内を地道に回って村の人の話を聞きだすという仕事は協力隊(青年)時代と同じですね。
実は相澤さん、任期中に地元の方と結婚され、名実ともに小谷村の人となりました。今後、現在の仕事を引き続き、より発展させていきたいとのこと。二つの協力隊での経験をさらに生かしてご活躍されることでしょう。

(*注)地域おこし協力隊とは、総務省の事業で1年から3年以下の期間で地方自治体の委嘱を受け、地域で生活し、各種の地域協力活動を行います。(一部地域おこし協力隊ホームページより抜粋)

長野県青年海外協力隊OB会より

新OB・OGのみなさんをご参加をお待ちしています!

和田 信大 事務局長よりメッセージ
“長野県OB会は、①派遣中の隊員家族へのフォロー ②留学生との異文化交流 ③協力隊の体験談話を中心に気軽に楽しく活動をしています。秋には留学生との交流会を行うので、隊員時代のお話を聞かせに来て下さい。また、県内の様々な地域イベントにも出展しています。同じ派遣国だったOBや同期同士の懐かしい話ができるかも。これまでに長野県関係者のOB・OGはなんと約1,000人!ぜひ皆さんも気軽にOB会イベントに参加してみてください!” 連絡先は info@nagano-jocv.com またはOB会のホームページ http://nagano-jocv.com/ をご覧ください。



昨年秋の留学生との交流会

JICAボランティア秋募集！ 『一日体験入隊』もパワーアップ！

今年のJICAボランティアの秋募集期間は10月1日から11月4日まで。今年にはさらにパワーアップした募集説明会を県内各地で行います。

JICAボランティアを目指している方、興味はあるけど応募はまだかな、という方、また単にJICAボランティアって!?っていう方でもOKです。ぜひお近くの会場へ足をお運びください。元青年海外協力隊・シニア海外ボランティアのお話も聞くことができます。

- 費用は無料です。(10/19の『一日体験入隊』は昼食代500円がかかります)
- 駒ヶ根会場以外は予約不要、途中入退場可です。



平成26年度JICAボランティア秋募集 『体験談&説明会』

- 10月 3日(金) 飯田市りんご庁舎第1・2会議室
青年海外協力隊・シニア海外ボランティア共通 18:00-20:00
- 10月 4日(土) 松本市M-ウィング4-4会議室
シニア海外ボランティアの部 10:30-12:30
青年海外協力隊の部 14:00-17:00
- 10月10日(金) 上田市中央公民館第三会議室
青年海外協力隊・シニア海外ボランティア共通 18:00-20:00
- 10月11日(土) 佐久市総合病院 研修棟3F 会議室
青年海外協力隊・シニア海外ボランティア共通 14:00-17:00
- 10月18日(土) 諏訪市公民館 3F 講堂
青年海外協力隊・シニア海外ボランティア共通 14:00-17:00
- 10月19日(日) 駒ヶ根青年海外協力隊訓練所にて一日体験入隊(要予約)
※一日体験入隊では無料バスが次の駅から出ます。 甲府駅、上諏訪駅、名古屋駅、飯田駅、長野駅、松本駅
- 11月 1日(土) 松本市M-ウィングにて
“世界を知るトークイベント。”訓練所35周年と松本市のネパール・カトマンズ市友好姉妹都市25周年を記念したトークイベントです。(午後予定)



“写真提供：Kenshiro Imamura/JICA”

詳細はJICA駒ヶ根のホームページ(<http://www.jica.go.jp/komagane/index.html>)をご覧ください。
ご覧になるか、募集担当(TEL:0265-82-6151)までお問い合わせください。

JICA駒ヶ根で本格始動！『中小企業海外展開支援事業』

国際協力機構(JICA)では、ODAを活用し、中小企業等の卓越した製品・技術を開発途上国の課題開発と企業の海外事業展開及び地元地域活性化への円滑な促進を図ることを目的に、各種支援事業を数年前から実施しています。

JICA駒ヶ根でも今年から企業連携の専門スタッフを配置し、長野県内の中小企業の途上国での展開に向けたサポートを開始しました。中小企業海外展開支援事業は、途上国での調査から普及・実証まで様々な事業があります。また、企業の社員を青年海外協力隊として派遣する「民間連携ボランティア制度」もあり、各企業のニーズに合わせて、JICAの各種事業を活用いただける様、今後、県内各地でも事業紹介セミナー等を実施していきます。

長野県内の途上国への海外展開をお考えの中小企業のみならず、
まずはJICA駒ヶ根の企業連携担当：小嶋^{おしま}までお声掛けください!



9/19 松本市で実施した中小企業セミナーの様子

イベント・レポート

Event Report



夏休み・

駒ヶ根訓練所来訪者!!

計600名
22団体!

今年の夏休みは、多くの宿泊・研修型の施設訪問がありました。2泊3日の「麗澤大学体験入隊」では、成瀬教授のゼミの学生7名が参加。協力隊の候補者と混じり、班活動や国際理解ワークショップに参加したり、ネパール語を学んだり。「東京グローバルユースキャンプ」では、計50名の東京都の高校生が2グループに分かれ、5泊6日の研修を行いました。毎日の語学授業、様々な国際協力ワークショップに加え、屋外での自炊やチームビルディングなどの野外活動、最後には「若者宣言」を作成し、国際協力への高校生自らによるアクションプランを発表しました。

また、「二本松市子ども訪問団」の小学生や、恒例の「いなん100km徒歩の会」の小学生の宿泊、「JICA北陸キャンパス」の大学生など、夏休み期間だけで22件、訪問者数は約600名にも上りました。訓練所の雰囲気を感じ、JICAボランティア候補者の熱いパワーを感じてくれたことでしょう。



成瀬ゼミの皆さん。ネパール語を教わったサヤミ先生とともに。



「東京グローバルユースキャンプ」にて。課題は知らない海外の食べ物を作る。手がかりは写真だけ!

8/31

第4回クロスカルチャーデーin駒ヶ根

今回で4回目の「クロスカルチャーデー in駒ヶ根」。今回はJICA東京に滞在中の海外からの研修員と駒ヶ根



市民との交流を駒ヶ根市中沢地区にて行いました。

まずは、おいしい中沢地区の地元野菜の収穫体験。そして、新鮮な採れたて野菜をその場で試食。研修員らは野菜のおいしさに感動していました。

その後は、地元の蔵澤寺に移動して市民との昼食会。地元の方々が用意してくださり、中沢野菜をふんだんに使った料理が振る舞われました。そして一緒にアフリカの太鼓をたたいたり、お餅つきをしたりで大盛り上がり。

研修員の代表からは「来日して一番の思い出ができ、このまま駒ヶ根に残りたいほど感激しました!」との挨拶も。彼らは日本の文化に触れ、また、駒ヶ根市民の心に触れることができたようです。

駒ヶ根市制60周年記念企画

みなこいワールドフェスタ

エスニック・ランチin JICA駒ヶ根

～駐日ネパール大使夫妻とともにネパールを感じよう～

駒ヶ根駅・市役所からの無料送迎バスも運行!

参加者募集開始!

駒ヶ根訓練所恒例のエスニック・ランチ。10/25(土)は「みなこいワールドフェスタ」のイベントとしての特別版、ネパール料理。駐日ネパール大使ご夫妻をゲストに迎え、本場のネパール料理を楽しむ、大使夫妻による料理や文化の説明、そして駒ヶ根市長や訓練所長との対談など。どなたでもご参加できます。

※今回は大使ご夫妻がベジタリアン(菜食主義)のため、野菜等のベジタリアン料理です

■日時: 2014年10月25日(土) 12:50~14:55 (受付開始12:30)

■会場: 駒ヶ根青年海外協力隊訓練所(JICA駒ヶ根)食堂にて。

■共催: 駒ヶ根市、一般社団法人駒ヶ根観光協会、中央アルプス観光株式会社

■参加費: 700円(ランチ代として。セルフサービスのカフェテリア方式)

■メニュー: ネパールのカレーが中心です。ベジタリアン料理。(肉、魚、卵なし)

駐車台数に限りがあります。車でお越しの際はできるだけ乗り合わせてお越しください。当日は駒ヶ根市が無料送迎バス(往復)を運行いたしますので、ご利用下さい。お申し込み時に来場方法をお知らせください。



無料送迎バス(行) 駒ヶ根駅発 午後0:20
市役所発 午後0:30

定員: 100名
締切: 10月20日(月)

お問い合わせ・お申込み

【電話】0265-82-6151 (JICA駒ヶ根 担当: 茂木)
【FAX】0265-82-5336
【Eメール】jicakjv-kouhou@jica.go.jp

JICA東京・駒ヶ根主催 平成26年度教師海外研修



東京都、群馬県の先生方ともに長野県から3名の先生方を含め計10名が参加した「教師海外研修」(モンゴルコース)。現地では、日本大使館への表敬、JICAボランティアの活動現場視察やJICA支援事業現場や、モンゴルの教育施設などの訪問や、モンゴルの生徒たちとの交流、また遊牧民の住まいであるゲルでのホームステイ、乗馬体験など多くの体験をし、モンゴルへの、そして国際理解教育への情熱をたくさん持って帰国されました。

伊藤須美子先生
(木曾町立開田小学校)

10日間のモンゴルでの体験が自分の日常と意識を変えてくれました。馬と自国に対する“誇り”を持つモンゴルを通じ、木曾馬のいる開田高原でも、子供たちの“地元を誇れる心”を育てたいです

正村真一先生
(学校法人上田学園
上田西高等学校
担当教科 地歴公民)

渡航前に抱いていた疑問「途上国への支援は本当に必要なのか？」への答えが得られました。日本が世界の人々と協力していく大切さ・支援の在り方を生徒に考えてもらいたい。

小木曾一希先生
(長野県上田高等学校
担当教科 英語・情報)

国際協力の意義を見出せた研修でした。生徒自身にも国際協力について意見を持ち、行動できるようになってもらいたいです。派遣前と後の研修を含め、同行メンバーに大いに刺激され、気付けられ、達成感を共有できました。

成人の日

来年1月12日(祝)には松本市にて教師海外研修の報告会を一般公開で行う予定です。詳細は今後JICA駒ヶ根のホームページ等でお知らせします。



モンゴルの大草原で伝統衣装をまとう、左から正村先生、小木曾先生、伊藤先生。



ゲルでホームステイ先の子どもと伊藤先生。

JICA長野デスクの窓から♪

9/7(日)、今年度2回目の信州国際塾 「国際協力セミナー～高校生からの招待状」を 上田市中央公民館で行いました!



JICA長野デスクでは、「信州国際塾」という料理教室から国際協力セミナーまで、国際協力に理解と関心を持ってもらうための様々なイベントを企画しています。実は今回の企画、昨年度は「高校生参加型プログラム～国際協力の世界への招待状」というものでした。それが今年度は「高校生からの招待状」になったのは…すでに世界に目を向け一歩を踏み出している、たくさんの素敵な高校生の皆さんに出会えたから!

「国際協力の世界への招待状」を私たちJICA駒ヶ根から渡すのではなく、行動し始めた高校生から他の高校生へ、また地域の皆さんへ渡していくといった形です。

当日は、フィリピンに派遣された上田高校の皆さんによる報告、高校生団体 YouthShip からのメッセージ、JICA国際協力エッセイコンテスト2013理事長賞受賞者によるベトナム研修報告を、それぞれ8分に凝縮して発表してもらいました。後半は、国際協力実践者とのワールド・カフェ!

自分の言葉で世界への意志、思いを語る高校生の頼もしさが、他の高校生や地域の大人にも刺激と活力を与えた一日でした。

※第3回は10/25(土)「地球の料理教室～セネガル編 @長野市」です。ぜひ元青年海外協力隊の体験談と「美味しい異文化体験」をしましょう!



参加高校生の発表の様子

国際協力担当者のためのPCMを活用したプロジェクト運営基礎セミナー @松本市Mウイング

参加者募集!

PCM(Project Cycle Management)手法は、開発プロジェクトのための手法で、JICAをはじめ多くの開発援助機関で用いられています。ワークショップ形式で、受益者のニーズに即したプロジェクトを計画する演習などを通して合理的な問題解決手法や事業の客観的評価手法を体験でき、セミナーを受講すると、国際協力事業の実施がより効果的になります。

対象者

国際協力事業に関わりのあるNGO、国際理解教育・国際交流団体等のスタッフ、地方自治体、大学等における国際協力担当者

①計画・立案コース
2014年11月8日(土) 9:30-19:00
11月9日(日) 9:30-17:35
PCM手法を用いた国際協力事業の計画・立案(2日間)
(PCM手法の概論、プロジェクト事例による分析、PDM(プロジェクト・デザイン・マトリックス)作成演習)

②モニタリング・評価コース
2014年12月6日(土) 9:30-19:30
12月7日(日) 9:30-18:00
PCM手法を用いた国際協力事業のモニタリング・評価(2日間)
(PCM手法を用いたモニタリング・評価の概論、プロジェクト事例を用いたモニタリング・評価の演習)

【会場】松本市Mウイング
【参加費】無料
【定員】各コース20名
(最少催行人数:6名)

申込方法

JICA駒ヶ根のホームページ(<http://www.jica.go.jp/komagane/index.html>)にて詳細をご覧の上、受講申込書をダウンロードしてご記入後 jicakjv-shiminsanka@jica.go.jpまでお送り下さい。

お問い合わせ

JICA駒ヶ根 業務課 担当/佐藤 まで
TEL: 0265-82-6151 FAX: 0265-82-5336 E-mail: jicakjv-shiminsanka@jica.go.jp

青年海外
協力隊
現地レポート
from サモア
湯澤千里さん
平成25年度2次隊
職種:理科教育
南箕輪村出身



私は大洋州にある、サモアという小さな国に派遣されました。ここサモアは、世界で最初に日が上る国とされ、その太陽とキラキラ光る海がとてもきれいな国です。

現在、首都から離れた村の中にある中高一貫校で中2数学と、高2の化学を担当しています。高2の生徒は今年11月に国家試験を控えている受験生なので、私自身プレッシャーも大きいですが「全員合格」という目標に向かって授業を行っています。



授業風景

ます。ただ、一年が経とうとしている今でも葛藤していること...それは体罰問題です。

体罰は禁止ですが、私の学校が田舎ということもあり、子どもたちを叩く、殴る、といったことが日常茶飯事なのです。この学校の郷に従えば叩いてしつけることが普通なのかもしれない、そうするべきかと考え悩んだ時期もありましたが、口や自分の態度で示し、叩かなくても子どもたちが従い、聞いてくれるような授業運営をしたいという方が大きく、最終的にそれが子どもたちに伝わればと試行錯誤している日々です。



教師へのレクチャー

長野県出身 新ボランティア

(シニア海外ボランティア2名)
青年海外協力隊員9名

行ってきます!!

シニア海外ボランティア



こばやし ゆみこ
小林 由美子さん(駒ヶ根市) 派遣国:モロッコ 職種:病院運営管理
シニア海外ボランティアとしてモロッコへ派遣予定です。JICAが動いている「5S-KAIZEN-TQM」(保健医療施設で5S活動-整理、整頓、清掃、清潔、鉄-を定着化させ、業務環境を改善する)を病院で立ち上げます。どこまで貢献できるのか不安もありますが、モロッコの人達との関わりを大事にしつつ頑張りたいと思います。



みずの よしのり
水野 良紀さん(松本市) 派遣国:ドミニカ共和国 職種:経営管理
私の経験やスキルを生かして、貢献できればと思います。大学でスペイン語を専攻、30歳までは北米・南米市場を担当(営業)しました。その後、スペイン語とは疎遠になりましたが、平成21年度3次隊でチリに派遣され、今回2度目の派遣でラテンアメリカに関わることになりました。



かりわ たけし
和 武史さん(中野市) 派遣国:ヨルダン 職種:写真
派遣国では、遺跡発掘調査時の出土品や遺跡現場のほか、観光事業用の写真撮影を主に行う予定です。大学では日本史を学び、その後写真関係の仕事をしてきたため、この職種に応募しました。世界史も好きですし、アラブの歴史に直に触れられる機会に巡り合えて嬉しいです。2年間、ヨルダンの歴史研究や観光事業の力になれるよう頑張ります。



おがわ ひとみ
小川 ひとみさん(松本市) 派遣国:ガーナ 職種:PCインストラクター
SE経験を活かして途上国の方のために何かしたいと思い、応募しました。ガーナの職業訓練校でPCの技術を伝える予定です。現地の方と同じ生活をし、同じ目線で一緒に活動し、共にPCの知識向上を図っていきたいです。



こばやし ひとみ
小林 瞳さん(飯島町) 派遣国:バングラデシュ 職種:感染症エイズ対策
大学生の頃に訪れたウガンダで貧しい中でも笑顔忘れず懸命に生きる人々に出会い、途上国のために活動しよう決めました。バングラデシュでは健康を通して一人でも多くの人を笑顔にできるような頑張りたいと思います。

青年海外協力隊

青年海外協力隊



にいぜき みほこ
新関 三保子さん(松本市) 派遣国:ベトナム 職種:社会学文化人類学
これまで学んだことを他の皆さんと共有したいと思い協力隊に応募しました。派遣先は世界でも珍しい女性をテーマにした女性博物館です。日本からも沢山の方が来館してもらえるよう頑張りたいです。



いけだ まい
池田 麻衣さん(長野市) 派遣国:ガーナ 職種:理学療法士
西アフリカ、ガーナにある障害児者職業訓練校で理学療法士として派遣されます。憧れのアフリカでの仕事、笑顔と元気のお裾分けに行って来ます!!



きたはら みき
北原 美樹さん(飯田市) 派遣国:ドミニカ共和国 職種:小学校教員
ドミニカ共和国の教員養成校の学生に、算数授業の支援をする予定です。現地の方々と共に生活する中で信頼関係を築き、少しずつ活動を勤めていければと思います。そこでの経験を日本の子どもたちにも伝えたいです。



さいとう あきこ
齋藤 明子さん(松本市) 派遣国:ベトナム 職種:作業療法士
Xin chào! ベトナム南部のドンナイ省にある総合病院へ派遣予定です。市内の病院で7年間の勤務中、以前から海外勤務に憧れていたこと、作業療法士の魅力を多くの人に伝え、新興国で必要とする人々や作業療法士を志す人々と共に生活し働き、助けになれば思い、参加を決めました。支えてくれた方々に恩返しができるよう2年間、精いっぱい活動し多くのことを吸収したいと思います。



たかぎ みすず
高木 瑞恵さん(千曲市) 派遣国:モザンビーク 職種:青少年対策
小学校で音楽を中心に情操活動を行います。現場の子ども達が活躍できる環境作りを力をつけたいです。



しもの りさ
下野 理紗さん(伊那市) 派遣国:ポリビア 職種:助産師
母子病院で活動予定です。憧れのウユニ塩湖があるポリビアに行くことができ、とてもワクワクしています。国人も一期一会。出会いを大切に、たくさんの経験をして、自分自身も成長したいと思います。

新職員紹介



さとう としはる
佐藤利春

8月より駒ヶ根訓練所の市民参加協力調整員として勤務しております佐藤利春です。主に草の根技術協力事業とNGO連携を担当しています。平成21年度のシニア海外ボランティアとしてスリランカに、またJICAの技術協力プロジェクトの専門家としてパキスタンに派遣されておりました。これから国際協力に参加する信州の人材や団体様の道しるべとなるべく貢献していく所存です。よろしくお願いたします。

Information JICA駒ヶ根 インフォメーション

派遣前訓練公開講座 平成26年度3次隊 参加は無料ですが、事前にお申込が必要です。

▶JICAボランティア事業の理念と目標

内容：JICAボランティア事業の概要及びその活動
10月20日(月) 13:00～14:50
定員：10名 講師：小川登志夫 事務局長(青年海外協力隊事務局)

▶地球のステージ(コンサート)

内容：途上国で巡り会った人々との交流を映像と音楽そして語りで表現する「映像と音楽のシンクロ」ステージ。貧困生活の現状や紛争地域での子どもたちの明るくたくましい姿などを映し出しながら、桑山氏自身の経験、ボランティア観を表現する。
10月25日(土) 15:10～17:00
定員：10名 講師：桑山紀彦氏(地球のステージ事務局)

▶JICA事業概要

内容：JICAの目的・機構・歩み・現状などの事業概要
10月27日(月) 15:10～16:00
定員：10名 講師：青年海外協力隊事務局 職員

公開講座とは・・・JICAボランティアの派遣前訓練で実施している各種講座を一般の方にも公開しているものです。会場はすべて駒ヶ根青年海外協力隊訓練所です。

▶国際関係と日本の国際協力

内容：日本の援助の歴史、概略、現状を理解する
11月12日(水) 15:10～17:00
定員：10名 講師：廣野良吉氏(成蹊大学 名誉教授)

▶世界の宗教理解

内容：世界の宗教についての理解を深める。
11月17日(日) 14:10～17:00
定員：10名 講師：大澤純子氏(東京工業大学大学院 社会理工学研究科 価値システム専攻)

▶異文化適応概論

内容：文化とは何か、理解とは何か、カルチャーショックとは何か、適応するとはどういことかなどの異文化に入っていくにあたっての心構え
11月22日(土) 13:00～14:50
定員：10名 講師：木村秀雄氏(東京大学大学院 総合文化研究科 教授)

※講師の都合等で実施日が変更になる場合がありますので、ホームページでご確認ください。

ホームページ <http://www.jica.go.jp/komagane/event/index.html>

2年間の活動
お疲れ様でした!!

帰国したJICAボランティアの方々



青年海外協力隊 H24年度1次隊 2012年6月～2014年6月

たけうち のぞみ

●派遣国：ザンビア ●職種：理数科教師

アフリカ南部に位置するザンビアは、世界三大瀑布の1つであるビクトリアの滝があることや、銅の産出国として知られています。私は、首都からバスで11時間の場所である北西部州ソルウェジにて活動をしていました。中高等学校に配属され、現地の生徒に英語で理科と生物を教えていました。最初は異文化に驚く毎日でしたが、人と人との繋がりを大切にす彼らに助けられ、様々なことを教えてもらいました。現地では、理科実験の導入、貯水タンクの設置、ソーラン節など色々なことに挑戦し、失敗も成功も私の大きな財産です。今後は、休学していた大学院を卒業し、来春から民間企業で働く予定です。ザンビアで感じた心を忘れないように、日本社会でも頑張っていきたいと思えます。



青年海外協力隊 H23年度4次隊 2012年4月～2014年3月

うつみ しんのすけ

●派遣国：ルワンダ ●職種：電子工学

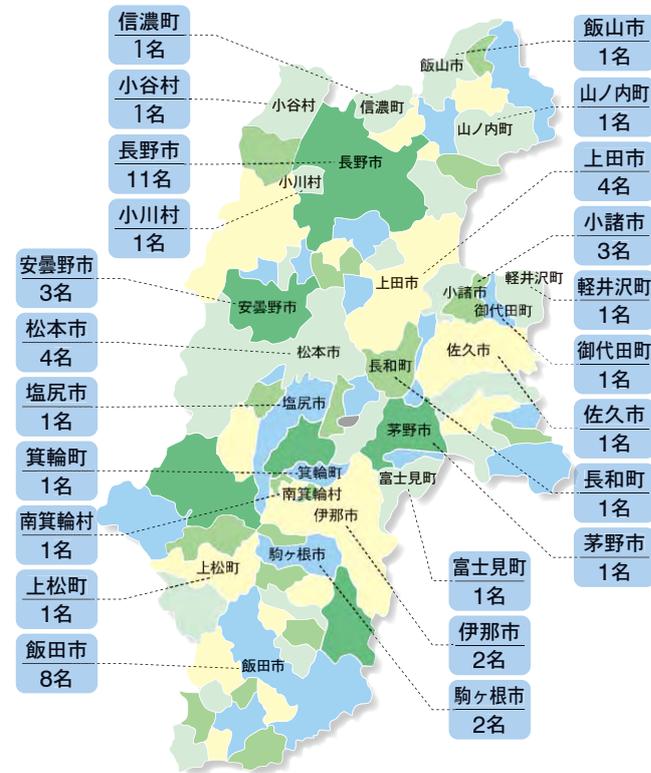
アフリカのほぼ真ん中にあるルワンダという国の技術専門学校で、電子工学の教員として活動してきました。ルワンダというと20年前の虐殺を想像される方が多いですが、実はどこまでも緑の丘が広がる美しい国。真面目で穏やかな性格の人が多く、一年中、春のような気候でとても過ごしやすいです。現在は急激な経済成長を遂げており、それに伴って技術者の養成が進められていますが、技術者としての業務経験がある人が少なく、日本の支援が求められています。そこで日本のものづくりの技を伝えるべく、教員への助言や学生の指導、授業内容の改善などを行ってきました。現在は精密機器メーカーで設計・開発業務に携わっており、引き続き、ものづくりの力で日本を、そして世界を元気にしていきたいと考えています。



派遣中JICAボランティア

(平成26年8月31日現在)

※各地方自治体へ表敬訪問をした人数＝JICAボランティアの数としています。



長野県関係者 JICAボランティア派遣実績

平成26年8月31日現在

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| ①青年海外協力隊員
派遣中 53名
累計 910名 | ③日系社会青年ボランティア
派遣中 1名
累計 19名 |
| ②シニア海外ボランティア
派遣中 10名
累計 72名 | ④日系社会シニアボランティア
派遣中 2名
累計 4名 |

発行 独立行政法人 国際協力機構
駒ヶ根青年海外協力隊訓練所

〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂15
TEL.0265-82-6151(代) FAX.0265-82-5336
E-mail jicakjv@jica.go.jp
<http://www.jica.go.jp/komagane/index.html>

JICA駒ヶ根 facebook ページを開設!
<https://www.facebook.com/jicakomagane>

JICA駒ヶ根 メールマガジン
☑ 配信希望の方は jicakjv@jica.go.jp
までメールでご連絡ください!

JICA駒ヶ根では毎月1回メールマガジンを配信しています。県内の国際協力に関する動きやイベントなど、耳よりな情報をリアルタイムでお届けします。